

令和5年度 家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2	年次/コース	高校2年生/SS
使用教科書	新図説 家庭基礎 (実教出版)						
副教材など	家庭科 55 資料集 (教育図書)						

1. 学習の到達目標

- 科目について
 - ・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につけることを目標としています。
 - ・生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につけましょう。

自分らしい生き方と家族

- ・時代とともに変化する家族や家庭のかたちを知り、自分らしい生き方について考える単元です。
- ・家族・家庭に関わる法律については、結婚への意識が時代とともにどのように変化してきたのかを知り、これからの結婚の在り方や民法改正について考え、自らが創造する家族・家庭について議論する時間を設けます。

子どもとかかわる

- ・自分が生まれてから今まで、多くの人に支えられて育ってきたことに気づき、次世代を育む重要性を理解する単元です。また、乳幼児期の体の発達を学び、次世代を健やかに育むための態度の基礎を培います。
- ・授業では、解説資料や動画を使って、授業プリントに取り組みます。
- ・子どもの心身の発達にとって重要である情緒的な結びつきについて学び、親の役割について考え、子どもを育てることは親もともに育つことを理解しましょう。

作品製作

- ・布の扱い方、アイロンのかけ方など、実習を通して、布の材質に応じた基本的な縫製技術を習得しましょう。また作品に工夫を加えて個性的な作品作りを楽しみましょう。文化祭や探究フェスタで作品を展示発表します。

高齢者とかかわる

- ・私たちがいずれは高齢者になります。高齢者になった時に、心やからだにどんな変化があるのか、高齢者はどんな暮らしをしているのかなど、身近な高齢者と関わりながら理解を深めましょう。

食生活をつくる

- ・現代の食生活の傾向を知り、健康的な食生活の必要性を学びます。具体的に栄養素と食品について、基礎的な知識を身につけましょう。また安全な食生活をめざして食品衛生や環境とのかかわりについても考えましょう。

経済的に自立する

- ・経済的自立は青年期の課題の一つです。家計の構造やライフイベントおよびリスクに対する備えについて学び、短期的・長期的な経済計画と家計管理ができるようになります。

●コンピテンシーについて

自分らしい生き方と家族

- ・家族・家庭の意義や機能について理解する [知識・技能の習得力・思考力・判断力]
- ・時代とともに変化する家族・家庭、その問題点について考える [知識技能の活用力・表現力・想像力]
- ・様々な結婚のかたちについて知り、自らが創造する家族・家庭について考え述べる [思考力・想像力・表現力]
- ・時代により変化する家族・家庭に関わる法律について理解する [知識・技能の活用力・思考力]

子どもとかかわる

- ・子どもの発達と生活、子どもの福祉について理解する [学びに向かう力・思考力・想像力]
- ・親の役割と発達の重要性、地域社会に果たす役割を理解する [知識技能の活用力・判断力・表現力]
- ・子どもを生み育てる意義や子どもと関わることの重要性を知る [知識技能の活用力・想像力・コミュニケーション力]

作品製作

- ・被服製作に必要な知識と技術を習得できる。 [基本的な技術力・協働力]
- ・なみ縫いの仕方・ボタン付け・まつり縫い・スウェーデン刺繍など、必要な基本的裁縫を復習し習得できる。 [技術習得・コミュニケーション力・協働]
- ・日常に使用する作品に工夫を加え、安全な衣生活を営むことができる [想像力・主体性・問題解決力]

高齢者とかかわる

- ・高齢社会の現状や心身の特徴や生活について知り、身近な課題と捉える [学びに向かう力・思考力・想像力]

食生活をつくる

- ・食事の役割を理解し、自分の食生活を振り返り、課題点を考える。[知識技能の習得・学びに向かう力]
- ・栄養素の働きを理解し、青年期の栄養の特徴を考える。[知識技能の習得力・思考力・判断力]
- ・食生活を総合的にデザインするために必要な食材の適切な選択、調理の技術を身に付ける。
[知識・技能の習得力・表現力・判断力・学びに向かう力]
- ・食事の役割を理解し、自分の食生活を振り返り、課題点を考える。[知識技能の習得・学びに向かう力]
- ・現代の食の課題を知り、解決策を考える。[知識技能の活用力・思考力・判断力]

経済的に自立する

- ・家計の構成や収入支出の特徴について十分に理解し課題解決に向けて積極的に取り組む。[思考力・判断力]
- ・大きな支出、リスクへの対応、資産形成のため保険や金融商品の種類や内容について十分に理解している。
[知識技能の習得・学びに向かう力]
- ・契約の仕組みと多様な契約の種類があり、未成年と成年の法律上の違いを理解している。
[知識技能の習得・学びに向かう力]
- ・消費者として適切な意思決定をするために情報リテラシーと批判的思考が重要である意味を理解している。
[知識・技能の習得力・判断力・学びに向かう力]
- ・販売方法の種類と注意点を理解し問題商法の種類やその特徴、対処法について知識が身につけている。
[思考力・判断力]
- ・事業者と消費者の間の情報格差を埋めるための法律や制度について理解し、クーリング・オフ制度の可能条件について具体的に理解している。
[知識・技能の習得力・判断力・学びに向かう力]

2. 学習方法について

●授業中において

- ・授業はスライドを見ながらプリント教材に取り組みながら進めます。スライドには動画や資料を入れ、視覚的に理解が深まるようにしています。プリントは教科書に準拠した内容になっています。
- ・授業の最後にプリントを提出します。成果点となりますので、毎時間しっかり取り組んでください。
- ・授業ごとのリフレクションはClassroomにFormで送信します。その授業で学習したことの理解ができていますかを問う内容になっています。リフレクションすることで学習内容を自分の中で整理し、次の授業につなげていくことにしましょう。

作品製作

- ・被服実習でもclassroomに動画を提示します。それを観ながら友だちと教え合いながら作品製作に取り組んでください。何度でも繰り返し視聴できるので自分のペースで進めることができます。
- ・その時間内の進捗をクリアするように、毎時間終了時に取り組みカードに記入し提出します。
- ・完成後は、工夫や苦心したところをグループで共有し、完成に到る感想を発表し、良かった点を振り返りシートに記入して交換し、相互評価を行います。
- ・苦手意識を持っていた人も成長とともにできるようになっていることを実感すると思います。

調理実習

- ・調理実習（簡単な日常食作り）を通して、基礎的な技術を習得します。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗いや器具の洗浄をしっかり行い、実習中は私語をせず取り組み、試食も黙食の協力をお願いします。
- ・授業の最後にプリント（調理レポート）を提出します

●家庭学習において

- ・高等学校の家庭基礎の授業は、一生を見据えて、大人になるための、自分の生活を創造することはもちろん、高齢社会、持続可能な社会の創造が学びの内容となっています。学習した知識と技術を活用し、これからの生活を展望し、実践的な態度を育むことがとても大切です。みなさんが主体的に生活の課題を捉え、その解決を目指していけるよう、家庭での実践力をより一層培えるよう努めてください。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

評価方法	授業用プリント リフレクションシート 定期考査	授業用プリント リフレクションシート 定期考査	授業用プリント リフレクションシート 作品提出 ワークシート

上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の生き方について自立の観点から学習する ・自己分析をすることで自分らしい生き方について考える 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。 ・自己分析をして、自分らしい生き方について考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・家庭科55資料集
	生活を支える労働	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を支える労働について学ぶ ・将来の職業選択について考える 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職業労働の雇用形態について理解し、職業には自己実現の要素もあることが理解できる。 ・家事労働の意義や大切さについて理解できる。 ・家事労働について話合うことで、現在の自分について理解し、他者の意見を聞き、課題が見つかれば改善することを考えられる。 ・職業について、近い将来のことという意識をもって、積極的に学習に臨んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深ぼりワーク(家事について考える) ・実践コーナー(バーチャル入社試験)
	家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の推進について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。 ・固定的性別役割分業やワークライフバランスなどについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・家庭科55資料集
	家族にかかわる法律	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの家庭生活や社会のあり方について、改善方法を挙げる ・世帯構成の変化について 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯構成や世帯人員のグラフから、時代とともに変化していることを理解できる。 ・家族に関する課題が生じており、それに対する社会的支援があることを理解できる。 ・DVについての理解を深め、自分が加害者にも被害者にもならないようにするためにはどうしたらよいか、考えようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・深ぼりワーク(デートDVにつ

		<p>学習し、現代の家族の課題を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族に関する法律を知り、その理念や現在の動を学ぶ 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・民法改正について理解できる。 ・家族に関する法律についての知識を身につけている。 ・人の一生に関わる法律について理解しようとしている 	<p>いて考える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践コーナー (大人になるってどんなこと)
2 学 期	<p>子どもの誕生からだの発達運動機能の発達と知的発達かかわりのなかの発達親になることを考えよう子どもの生活習慣と健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながっていることを知り、育てる力について学ぶ。 ・子どもの身体の成長、発達の順序や、子どもの世界観について学ぶ ・人の発達において、保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを考える 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・将来子どもを生む可能性のある今の10代の健康が、子どもの命にかかっていることを理解する。 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要さを認識することができる。 ・誕生から幼児期までの子どものからだの発達について理解する。 ・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることが理解できる。 ・運動機能の発達と知的発達について理解できる。 人の発達において、保育や人とのかかわりがいかに重要であるかを理解できる。 ・子どもの発達について学び、社会性が育っていく過程などについて理解できる。 ・発達段階に応じた子どもの基本的な生活習慣や社会的な生活習慣とその重要性について理解できる。 ・子どもの健康管理の必要性について理解できる。 ・子どもに発達と起きやすい事故の関係について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・家庭科55資料集 ・実践コーナー (ロールプレイングで保護者の声かけについて考えよう) ・深ぼりワーク (これからの子育てを考える) プリント
	<p>高齢者を知る 高齢者のサポートと介護の心 私たちの</p>	<p>高齢者とかかわることの意義、高齢社会の現状と課題について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の変化と生活について学習する 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の高齢社会、高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。 ・人生経験のある高齢者とかかわりを持つことの意義を理解できる。 ・加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し、その変化については個人差があることも理解できる。 ・高齢者にとって家族とはどのような存在なのか、高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。 ・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・家庭科55資料集 ・深ぼりWORK (在宅で暮らす? 施設で暮らす?) ・深ぼりWORK (食の未来を考え

<p>食生活と健康</p> <p>5 大栄養素</p>	<p>・現代の食生活の傾向を理解し、健康的な食生活の必要性に気づく。</p> <p>栄養とからだのつながりを理解する</p> <p>・栄養素と水のはたらきを理解する</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>がかかわっていることを理解できる。</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外食やコ食について理解を深めようとしている。 ・ 自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。 ・ 5 大栄養素と水についての人のからだの中での働き、人のからだの成分についての基礎的知識を習得できる。 ・ 炭水化物（糖質・食物繊維）・脂質の構造（中性脂肪・グリセリン・脂肪酸）と、それぞれの働きにの働き、多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身につけることができる。 ・ たんぱく質をつくるアミノ酸について、特に必須アミノ酸の重要性を理解でき、たんぱく質を多く含む食品（魚介類・肉類・卵・豆類等）の特徴について理解できる。 ・ ミネラルの種類とビタミンの種類と、それぞれの持つからだの中での働きについての知識を習得できる。 <p>についての基礎的知識を習得できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 ・ 調理実習において、作業の流れを考え、効率について判断しながらとりくむことができる。 ・ 調理実習においては、積極的に参加しようとしている。後片付けまできちんと行っている。 ・ 食事マナーを身につけ、楽しく食事することができる。 ・ 食料自給率、輸入食品、遺伝子組換えやゲノム編集などを踏まえて、自分や家族の食について考えたり、他者と対話することができる。 ・ 食品ロスに配慮した調理実習をできる。 	<p>る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリント ・ 5 5 資料集 <p>調理レシピ 調理レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践コーナー（食品ロスを考えたクリエイティブクッキング） ・ 深ぼり WORK（食の未来を考える）
<p>3 学期</p>	<p>日々の収入・支出を把握する社会と家計の変</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家計の構成がわかる。 ・ 収入と支出の種類と特徴がわかる ・ 近年の家計の特徴について理解できる。 ・ 家計調査年報のグラフや給与明細などから、家計における収支バランスなどが理解できる。 	<p>深ぼり WORK（食の未来を考える）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ズームアップ（ライ

化	<p>の特徴について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフイベントや生活のリスクなどに備えた生涯を見通した経済計画と管理について学習する。 ・多様化する販売方法について、それぞれの特徴を理解する。 ・さまざまな問題商法や、被害にあった場合の解決方法について理解する。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・給与の使い方をシミュレーションし、思考することができる。 ・生活設計とかがかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。・経済的な自立に向けて、長期的な経済設計が立てられるようになる。 ・資産運用について学ぶ。 ・保険や金融商品などの種類や特徴について知識が身についている。 ・人生すごろくでシミュレーションし、ライフイベントや生活のリスクについて思考することができる。「契約」の基本的なしくみを理解できる。 ・自分たちが消費行動を日々行っている消費者であることを理解し、消費行動においては、都度意思決定が行われていることが理解できる。 ・情報リテラシーの大切さを理解できる。 多様化する販売方法の種類や内容について知識が身についている。 ・問題商法の種類や対処法について知識を身につけ、被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる 	<p>フステージと法律の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深ぼり <p>WORK (人生すごろく)</p> <p>プリント</p>
---	--	---	---	--	---